






議長		副議長		局長		補佐		係長		係員	
----	---	-----	---	----	---	----	--	----	---	----	---

平成30年11月27日

多賀城市議会議長 殿









会派等名 民政クラブ
 代表者名 雨森修一 

調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者(参加者)

- (1) 代表 雨森修一  (5) 
 (2) -----  (6) 
 (3) -----  (7) 
 (4) -----  (8) 

2 調査研究の概要

調査期間：平成30年11月19日(月)～平成30年11月22日(木)

調査目的：先進都市に於ける具体的内容を調査するもの

調査手法：視察調査

行程又は日程：添付行程表のとおり

調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
20日(水) 10:00～11:30	山口 県 萩 市議会	① 旧明倫小学校跡地活用事業について ② 視察場所、旧明倫小学校
21日(木) 13:30～15:00	岡山 県 倉敷 市議会	① 市街地再開発 ② (防災を中心として)
22日(木) 11:00～12:00	大阪府 県 守口 市議会	① 空き家確認ネットライン ②

調査資料：添付調査先作成資料のとおり

3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感(今後の市政に資する点)

別紙のとおり



調査の概要

市の中心部に位置する旧明倫小学校跡地利活用事業について、文化財的価値を有する旧明倫小学校を保存活用することで、歴史的風致を後世に継承すること。明治維新150年記念事業の一環として、全国屈指の規模を誇った萩藩校明倫館跡地に建つ日本最大の木造校舎（昭和10年建築）を保存改修し、「萩明倫学舎（本館及び2号館）」として平成29年3月4日に開館。

萩、明倫学舎は、萩観光の起点として、また、松下村塾とともに明治維新の原動力となった萩藩の人材育成を担った萩藩校明倫館の流水くみ、萩教育の原点となった学びの場として整備した。

旧明倫小学校保存整備事業（平成26年～28年度）

事業費（本館・2号館・周辺）約14億1,000万円、

財源内訳：国庫補助金、約4億1,000万円、

国土交通省住宅局-街けし環境事業（約1億8,300万円、

国土交通省都市局-集約促進景観、歴史的風致形成推進課、

約2億1,900万円、

総務省：地方創生加速化交付金 800万円、

地方債（合併特例債）約5億4,400万円

基金繰入金 約4億円、

一般財源 約6,000万円

以上

2. 所感...旧明倫小学校跡地活利用事業について
藩校跡に建つ日本最大の木造校舎が萩の新たな観光
起点に...平成30年(2018年)、明治維新150年の節目を迎
えた萩市平成27年7月「明治日本産業革命遺産」が世界遺
産に登録され、市内に所在する萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ
鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾の5資産が
ある。この様な世界遺産の現地を訪れる前に世界遺産ビジッ
センターで歴史的な流水を知る事により各資産の価値を理解
できる。現地を視察するとすれば1日~2日間の時間を必要
すると思う。興が深い。新たな観光拠点として今日まで築
かれた資産を守っていく大切さを感じる。

観光が拠点になるような建物を新たに建てる事が人口減少
の今日「負の遺産」になるのではと心配する。

萩市の人口減少は一年間で約1,000人と予測されている。
現在の人口は約48,000人、萩市を訪れる観光客は、年間約
240万人、明倫学舎の来場者は、平成29年3月4日~平成30
年3月31日の間約33万8,000人。

平成30年4月1日~平成30年10月31日、6ヶ月間で約15万
8,000人です。

個人的に再度萩市を訪問し時間の許すおぎり歴史、
文化、景観等に触れ合ってみたいと感じました。

以上

調査の概要

JR倉敷駅北口における防災機能を備えた全国でもめずらしい魅力的な都市空間形成「倉敷市中心市街地活性化事業取り組み」についてであります。

倉敷市では、JR倉敷駅を中心とした約75haを中心市街地と位置付け「倉敷市中心市街地活性化基本計画」を二期連続して策定し、平成23年度から官民一体で様々な活性化事業に取り組んでいる。I期計画、II期計画とも岡山県下で初めて内閣総理大臣認定を受けた。

現在II期計画平成27年度から平成31年度までの5ヶ年計画(73事業)、基本テーマ「世界に誇る伝統文化、居心地のよいよ、くらしき」目標を達成する為に努力している。

2. 所感

ホーに感じた事は全国にも例のない大事業に取り組む行政の目線、視線である。市長の言葉の中で、たどさんの市民の皆さまからいただいた「倉敷の明るく未来を象徴するまちづくり」災害発生時には942の入ぐわ一時避難場所となるように、さまざまな災害対応、機能も備えてある。

また「倉敷しろい公園内」緑道、公園の園路及び外周路と隣接する商業施設の外周路を合わせ約2kmの散策コースも備えてある。自然豊かな広がりがある公園と、賑わいを創出する商業施設が調和した全国にも例を見ない総合施設公園であります。

災害発生時に於いては、炊き出しに使用できるおまごベンチ、ゴミ、トイレに使用できるマンホールトイレ、3基、救護作業

岡山県倉敷市 NO2

場となる「防災あすまや」も備えてある。

環境については、「太陽電池パネルと風力発電」と利用した、ハイブリッド照明灯（17基）を設置している。園内芝生広場を中心とした約1ヘクタールの憩いの空間でもあります。

倉敷駅前の貴重な「水と緑」を最大限に生かし、時代の変格に対応出来る倉敷のまちづくりを感じ取りました。

市民や観光客の入りが自由に過ぎ事出来る統合的な「人まち」構想であります。倉敷商工会議所の調査では、中心市街地内で約500万人を起える市民、観光客が往来している。今後民間官民一体となったまちづくりを推進し市街地活性化事業の成果に向け最前の努力をしている倉敷市感動の一言であります。

一部の入達の意見も大切であるが、6万市民の現在、将来、94員城の地域性を生かした「まちづくり」原点に立ち返りしつかりと取り組む事をこの視察にて感じました。

成果ある視察調査が未来大事に改めて感謝します。

以上

大阪府 守口市 No/

調査の概要

事業概要 (設置時期及び経緯)

事業目的、事業概要、守口市安否確認ホットライン

実施マニアル、市内事業との連携、その他

実績実績 (状況及び効果)

通報件数 平成25年度 16件

〃 26年度 10件

〃 27年度 9件

〃 28年度 7件

〃 29年度 14件

その他 安否確認事業として

平成29年度より75歳以上の独居者と対象とする。

守口市の高齢化率は、28.9%

1. 高齢化防災見守り安心事業

2. ふる里納税の返礼品による「郵便のみまもりサービス」

3. 老人クラブによる友愛訪問

4. 配食サービス

5. 救急、安心、カフェール事業

2) 所感

ききみと思えば連絡ください。

安否確認ホットライン 06-69921-4040 (+1V可)

◦ 家を訪向しても顔を出してくれない。

◦ 戸が閉まったままになっている。

◦ 新聞や郵便物が溜まっている。

◦ 最近、外出する姿と見受けなくなっている。

大阪府 守口市 NO21

洗濯物が干したまま、等々と重点に置いている。

守口市の安否確認ホットライン実施マニュアルづくりの背景として、高齢化問題は、1980年後半から自宅で誰にも見取られずに亡くなるという孤独死(孤立死)が今月の状況である。又「無縁社会」が今月社会的な課題でもあります。地域コミュニティを活性化する事とともに、そのネットワークを拡大することにより、早期発見、早期支援が可能となります。守口市においては、守口市社会福祉協議会や老人クラブ連合会における見守り活動、災害時要援護者登録制度などが実施されている。

より地域の見守りに重点を置いたセルフケアネットワークの強化を図るための事業「安否確認ホットライン」について超高齢化社会「平均寿命100歳」を迎える中で国や地方自治体でも、少しでも有効な防止対策に向けた取り組み必要不可欠と感じました。

最後に孤独死(孤立死)の防止、最期発見、連鎖被害等を防ぐためにも市職員、地域住民、地域団体などに「気づき」の感度を高めてもらうための「意識啓発」の推進を強く望むのであります。

今回の有意義な視察、調査をさせていただき感謝致します。